

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 ■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 西宮市鳴尾浜三丁目計画	階数	地上4F
建設地	兵庫県西宮市鳴尾浜三丁目11番3、21番4	構造	RC造
用途地域	準工業地域、防火地域・指定なし	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年03月 予定	評価の実施日	2023年07月21日
敷地面積	3,577 m ²	作成者	臼井 明夫
建築面積	1,837 m ²	確認日	2023年08月09日
延床面積	7,311 m ²	確認者	工藤 真樹



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100%

② 建築物の取組み: 84%

③ 上記+②以外の: 84%

④ 上記+: 84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 壁、床、天井のうち二面に吸音材を使用している。 照度が500lx以上1000lx未満。 事務室に換気量が30m ³ /h・人を超えることを確保します。	Q2 サービス性能 事務室の天井高2.9m以上。 リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上。 給水VLP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不使用。	Q3 室外環境 (敷地内) 1) 建物を周囲のまちなみや風景に調和させている。 2) 植栽により良好な景観を形成している。 5) 人が集まる場所の大きい道路となる地点(視点場)からの良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー BPI _m =0.62。 [BEI][BEI _m] = 0.70。	LR2 資源・マテリアル 節水コなどに加えて、節水型便器も採用している。 「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。OAフロアも使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率85%。 燃焼機器を使用していない。 適切な台数の自転車置場(バイク場含む)及び駐車場に加えて、荷捌き車両の駐車施設も確保している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される